

---

# MIViewer 操作ガイド (v1.5.0.0) r0

---

MIViewer をダウンロード頂きありがとうございます。

本ソフトは撮ってきた写真 jpeg データから、傑作 1-2 枚を絞り込むときに使用する目的で作成しました。View 画面とサムネール画面で選別し、その選別群のみの写真を再度表示しさらに選別する ということを繰り返し、傑作を絞り込もうというソフトです。データの加工やプリントは秀逸なソフトがデファクトとして確立しておりますので、その作業はそれらの優秀なプログラムにて処理します。

## 内容 (目次)

MIViewerをダウンロード頂きありがとうございます。.....	1
◆特徴 (目指したもの) .....	2
0.はじめに.....	2
1.初期画面 [view画面].....	3
・view画面操作ボタン補足(HELP画面).....	4
2.サムネール画面「Thumbnail」.....	4
・Thumbnail画面操作ボタン補足(HELP画面).....	5
3.view画面とThumbnail画面の連携.....	5
4.ユーティリティ画面.....	6
・utility Tools画面操作ボタン補足(HELP画面).....	6
・MIViewer SelectPhotoCopy画面操作ボタン補足(HELP画面).....	7
5.MIViewer 効果的な使い方.....	7
6.タスクトレイの表示・システムトレイの表示について.....	7
7.EXIF data確認カメラ (own cameras).....	8
8.MIViewerのネーミングについて.....	8
9.ソースコード (プロジェクトファイル) について.....	8
10.改訂履歴 Versionについて.....	8
11. 御意見・御要望について.....	8
◆◆◆◆◆ 著作権・免責 ◆◆◆◆◆.....	8

### ◆特徴（目指したもの）

- (1)直感的な UI (User Interface) を指向し一発操作。コマンドがネストすることを避ける。(プルダウン メニュー無し)
- (2) 撮り下ろしの写真データから傑作抽出・絞り込みするための用途に専念する。
- (3) 撮影データ (EXIF) 参照。さらに高感度 ISO 等、メーカー拡張領域にある EXIF 情報を表示する。  
(現在は Nikon の拡張 ISO 感度のみ対応)

使用環境は、最新の PC (CPUcore2 以上、Memory2GB 以上) と デュアルディスプレイ環境でのご使用をお勧め致します。サムネールは原画データを cpu が一生懸命加工して表示しますので過去データで jpeg 内にサムネール無しの画像データでも対応します。下の写真は、22inchW と 19inch の 2 台の LCD ディスプレーを使用した例です。



## 0. はじめに

### (1)インストールについて

本ソフトはインストール作業は不要です。解凍時にできたフォルダーを適当なところにコピーしてご使用ください。フォルダーには以下の 3 つの内容が必要です。

¥MIViewer¥+----MIViewr.exe	//実行プログラム本体
+----MIViewer.exe.config	//初期値ファイル
+----Selected.jpg	//カバー用
+----MIViewerManual.pdf	//マニュアルの PDF ファイル

使用開始後、MIViewSelect.dat 等ファイルが作成されます。

### (2)アンインストールについて

インストールやアプリケーション動作でデータの書き込み・操作等 レジストリをいじることはありません。

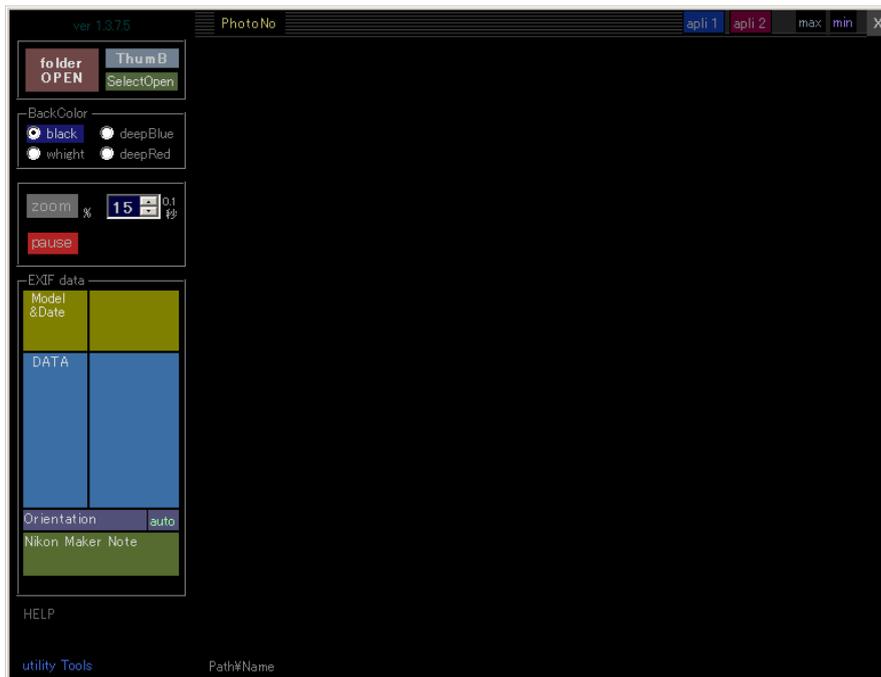
アンインストールする場合は、上記アプリケーションフォルダーごと削除すれば OK です。

### (3)windows XP の環境では、.NetFramework3.0 以降のインストールが必要です。

Microsoft のホームページからダウンロードできます。[.net Framework]で検索ください。

## 1. 初期画面 [view 画面]

- 画面のパネル色が 黒系/赤系/青系/白系 から選択できます。



青

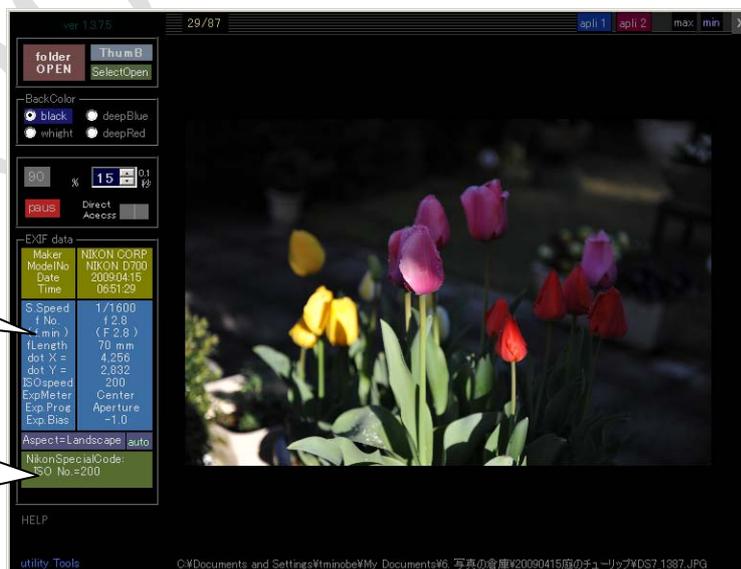


赤



白

- folderOPEN ボタンで写真フォルダーを指定します。  
写真フォルダーをドロップするかフォルダーの中の1枚をドロップしても同じ結果になります。  
.jpg 画像のみ対象です。画像が見つからない場合はエラーになります。 [jpeg file missing!!]
- 画像フォルダーが正しく指定されれば、フォルダー内の写真のスライドショーを開始します。  
UpDown ボタン(0.1 秒単位)でスライドショーの切替時間が指定出来ます。
- [run] [pause]の切替は[run]をマウスでクリックするかスペースキーを押すと切り替わります。
- [ThumB]ボタンをクリックするとフォルダー内の写真のサムネールを作成します。サムネールは別窓(別フォーム)に表示されます。



EXIF の  
情報が表示  
されます

拡張 EXIF データは、  
Nikon のカメラの場合  
ISO 拡張データが  
表示されます。

・ view 画面操作ボタン補足(HELP 画面)

1. [↑]key で1枚戻る
2. [↓]key で1枚進む
3. [←]key で-Zoom [Fn]+[←] Reset
4. [→]key で+Zoom [Fn]+[→] Reset
5. [space]key 停止/再開
6. [s]key で写真選択(サムネール画面へ)
7. [ThumB] サムネール一覧表示
8. [SelectOpen] SelectPhoto 表示
9. NumericUpDn =>表示時間(x0.1) Set
10. [Color select] パネル色：白/黒/青/赤
11. [pause/run] スライドショー pause/run
12. [auto/non] auto：自動回転、non：回転なし
13. [max] WindowSize Maximized
14. [min] WindowSize Minimized
15. [apli 1][ apli 2] 外部アプリ起動
16. [HELP] Help 表示
17. Zoom+200%以上、回転 non 時  
クリック点にセンター移動

表示写真を戻す  
表示写真を進める  
表示拡大 ~800% step  $\sqrt{2}$  倍  
表示縮小 ~ 25% step  $1/\sqrt{2}$  倍  
スライドショー停止/開始  
時写真を選択(ThumB 画面が開いている時)  
フォルダー内のが写真一覧(ThumB 画面)開始  
ThumB 画面で保存した selectPhoto 表示  
スライドショーの時間間隔設定  
view 画面の色選択  
スライドショーの状態表示、停止/開始  
EXIF データによる写真回転有無  
view 画面を最大化、[nor]標準  
view 画面を最小化  
外部アプリ起動、設定は utility Tools で行う  
  
写真画面上でマウスクリックするとセンター移動  
但し、自動回転[non]時のみ

open manual] ボタンを押すとMIVewerManual.pdf を表示します。

2.サムネール画面「Thumbnail」

- ・ View の[ThumB]ボタンで作成開始した場合は自動的に作成が始まります。
- ・ サムネールの作成中はお待ちください画面になります。view のスライドショーは停止します。



- ・ 全体の作成終了で、サムネールが表示されます。サムネールは、画質優先/速度優先の選択と大きいサムネール/小さいサムネールの選択ができます。条件を変えて作り直す場合は [START] をクリックします。



- ・ 選択したい写真をダブルクリックするか、選択状態 (フォーカスした状態) で Enter キーを押すと右側の SELECTED コーナーに写真が表示され元のサムネール画像はカバー画像で覆われます。
- ・ サムネールを選択した状態 (フォーカスした状態) で [apli1] [apli2] ボタンをクリックすると関連付けした外部アプリケーションが画像データを受け取って起動します。加工や印刷などは本ソフトでは対応していませんので外部アプリケー

ションで行います。

- Thumbnail 画面操作ボタン補足(HELP 画面)

Thb / MI Viewer  
HELP

サムネール画面でダブルクリックして選択した写真が表示されます

■ Apli 1  
■ Apli 2  
外部アプリケーションを起動します。  
設定はUTY toolで行います

■ START                   サムネール作成を開始します  
◎ Small / Largeラジオボタン   サムネールの大きさを指定します  
◎ Fast / Fineラジオボタ       サムネール作成時、速度優先か画質優先かを指定します

■ SAVE                    選択した写真リストdataを保存します  
◎ selectedラジオボタン   選択した写真リストdataを保存するときに新規データとして保存するか  
◎ to addラジオボタン      前のデータに追加して保存するかを選択します  
(保存したデータはMain画面のselectOpenで表示できます)

### 3.view 画面と Thumbnail 画面の連携

- サムネール画像を選択（フォーカス）した場合、view 画面にその写真が拡大して表示されます。

Thumbnail view showing a grid of images. One image is selected.

View view showing the selected image enlarged.

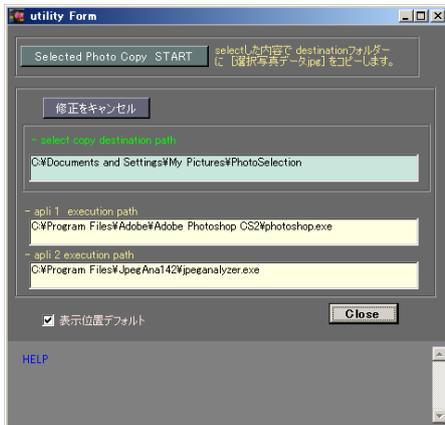
- サムネールの選択により、view のスライドショーは停止状態になります。
- view 側でスライドショーで送りながら見ていた写真で「これは良い」という物があった場合はサムネール側で選択しますが、この時 Thumbnail 画面の[**sync**]ボタンをクリックするとサムネール側の画像が選択(フォーカス)された状態になりますので、その画像を探しダブルクリックして選択側に入れます。
- フォルダ内の写真で絞り込み（選択写真の絞込）が終わったら、[**SAVE**]ボタンをクリックします。選択した写真のファイル情報(ファイル名とパス)が保存されます。この[**SAVE**]するときには、新規保存の時は[**●select**]、他の選択情報と合わせる場合は [**●to add**]を選択してから実行します。[**●select**]で保存した場合は、前回の保存データは上書きされます。(写真データの実体とは関係ありません)
- view 画面の[**SelectOpen**]ボタンをクリックすると、選択した写真の操作がフォルダを選択した

ときと同じようにできますのでこれを繰り返すことにより、傑作写真の絞込が簡単にできます。

#### 4.ユーティリティ画面

(4-1)view 画面及び Thumbnail 画面の下の方に [utilityTools]という表示があるのでクリックする。

- ・出てくる画面が外部アプリの起動パスや、セレクトした写真をコピーする場合のコピー先フォルダーを設定、表示位置の設定などを行います。



- ・表示位置デフォルトのチェックは、デュアルディスプレイ以上で使っている場合に、プライマリとセカンダリの位置関係を左右入れ替えた等、ディスプレイの座標関係が大きく変わった場合、表示位置を記録して前回と同じ位置に画面を表示するため、表示範囲以外となる場合があります。その場合は、ここをチェックしておけば Windows デフォルトの位置＝「プライマリー画面の左側」に設定されますので表示を元に戻せます。

・なお、プログラム内でもディスプレイの座標関係はチェックしており、NotifyICON をダブルクリックすると座標がプライマリディスプレイから外れそうな場合初期化しますか？ というメッセージが出る場合があります。その場合 Y とすると View の画面位置を初期化します。Thumbnail 画面については、上記の「表示位置デフォルト」のチェックを付けアプリを再起動してください。初期化された位置で開始します。

#### ・ utility Tools 画面操作ボタン補足(HELP 画面)

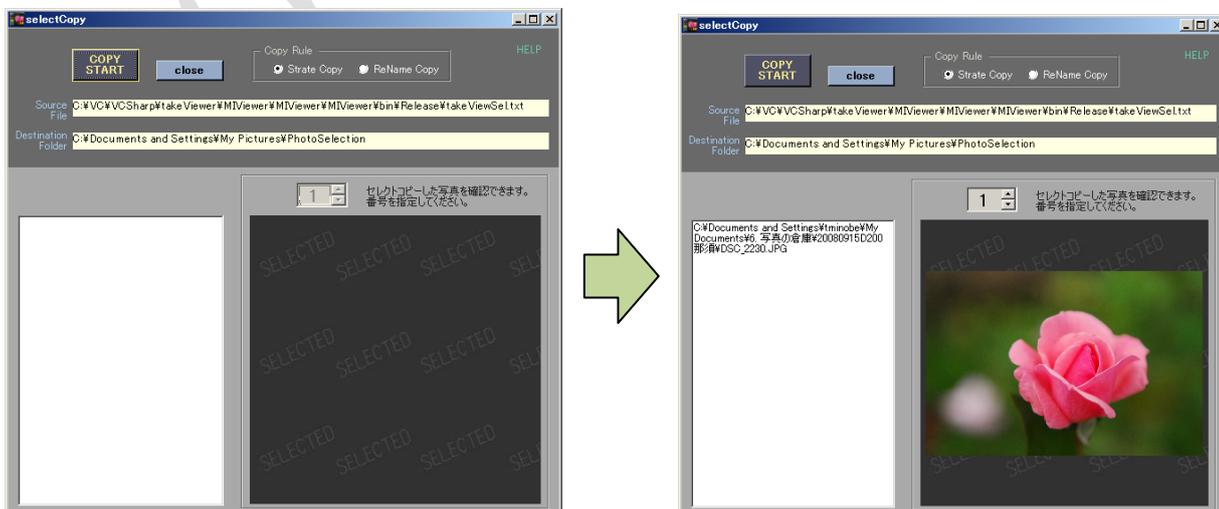
[Selected Photo Copy START] サムネール画面で選択・保存した写真の .jpg データコピー実行画面を呼び出します。(4-2. 項参照)

- select copy destination path : サムネール画面で選択した写真をコピーするフォルダーを設定する
- apl1 execution path : 外部起動するアプリケーション(1)のパス
- apl2 execution path : 外部起動するアプリケーション(2) のパスを設定する

[修正をキャンセル] 上記ファイルパスの修正をキャンセルします。

- 表示位置デフォルト : 使用するディスプレイ環境が変わった時などで表示範囲以外に画面がなった 時などにデフォルト位置に戻します

(4-2) 4-1 画面で、[Selected Photo Copy] ボタンをクリックすると下の画面がでます。



- ・ [COPY START] ボタンをクリックすると、選択データに基づいて写真データの実体が指定したフォルダーにコピーされます。コピー方法として [Strait Copy] 名前を変えずにコピーするか、[Rename Copy] 変えてコピーするかを選択できます。 変えずにコピーする場合は上書きモードで、変えてコピーする場合は上書き禁止モードで動作します。
- ・ UpDown ボタンの操作でコピーした内容が 写真画像で確認できます。

#### ・ MIVIEWER SelectPhotoCopy 画面操作ボタン補足(HELP 画面)

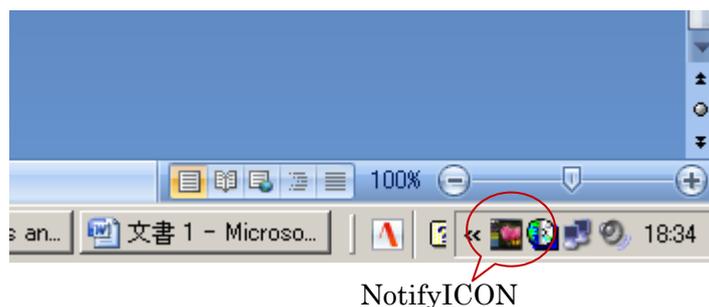
1. [Source File] セレクトデータ file の path 指定  
path の編集・修正可。
2. [Destination Folder] コピー先の path 指定  
path の編集・修正可。指定フォルダーが無い場合、新規作成されます
3. [Copy Rule] ボタン
  - ・ <ReNameCopy> : オリジナルの前に ####\$ を追加してコピー  
#### = 写真のカウント番号
  - ・ <Copy> : そのままコピー。同じ名前の場合 上書き
4. [COPY START] ボタン : コピー開始
5. [UpDwn] ボタン : カウントアップ/ダウンでコピーした写真確認
6. [HELP] Help 表示

### 5. MIVIEWER 効果的な使い方

- ・ デジカメで撮ってきたデータをカメラから PC の新しいフォルダーに移す
  - ・ 上記フォルダーを MIVIEWER で開く。 ・ ThumB ボタンで thb 画面を開く
  - ・ thb 画面で写真を送りながら view の画面で写真の程度を確認。
  - ・ 良さそうな写真は ThumB 画面ならダブルク、view 画面なら [s]key で選択
  - ・ 一通り選択が終わったら、[SAVE ・ select] で保存。 =これで選択写真データベースが出来ました
  - ・ view の画面[SelectOpen]ボタンを押します。すると選択した写真のみのスライドショーが始まります
  - ・ thb 画面で[START]ボタンを押すと選択写真の一覧が出ますので選択を繰り返して絞込をします。
- 「良い写真・傑作写真」だけが . . . . . 残ります。

### 6. タスクトレイの表示・システムトレイの表示について

- ・ MIVIEWER はタイトルバーを専用デザインしている関係でタスクバーにフォーム (プログラム名) を表示しません。システムトレイに NotifyICON が表示されますので、他のアプリで隠れた場合等は NotifyICON をクリックしてください。
- (システムレイは、画面右下の時間等が表示されているエリアです)



- ・ Thumbnail 画面が隠れた時、再表示するには view 画面で [ThumB] ボタンをクリックします。

## 7.EXIF data 確認カメラ (own cameras)

- (1)Nikon D700 (2)Nikon D200 (3)Nikon D70 (4)Nikon CoolPix990 (5)Panasonic DMC FS1  
(6)Nikon CoolPixP60 (7)Olympus C21/C21T (8)Fujifilm FinPix4800Z

## 8.MIViewr のネーミングについて

- ・ MI は Mission Impossible (実現困難な任務) から由来します。  
傑作写真を選び出す作業は、まさに Mission Impossible です。

## 9.ソースコード (プロジェクトファイル) について

- ・ MIViewer のソースコードにつきましては、Visual#2008 のプロジェクトファイルをシェアウェアとして提供いたします。カスタマイズ等改造をお楽しみください。
- ・ ダウンロードされたフォルダーに SRC.ZIP という圧縮ファイルが同梱されております。この圧縮ファイルにはパスワードがかかっておりますので Vector のシェアレジにて登録いただきパスワードを入手頂きますと解凍できます。
- ・ ソースコード (プロジェクトファイル) につきましては、ご質問対応などフォロー致しかねますのでご了承ください。
- ・ ソースコードの著作権等、扱いにつきましては同梱されております licens.txt をお読みください。

## 10.改訂履歴 Version について

2009.08.07. Vector ファーストリリース V.1.5.0.0  
vector リリース前については省略

## 11. 御意見・御要望について

- ・ 本プログラムに関する御意見、御要望は [:mi-take@globe.ocn.ne](mailto:mi-take@globe.ocn.ne) 迄御願い致します。

---

### ◆◆◆◆◆ 著作権・免責 ◆◆◆◆◆

本ソフトの実行ファイルはフリーソフトウェアとします。著作権は作者である MI-TAKE/tminobe が有します。  
本プログラムを使用したことにより生じたいかなる障害、損害 (例え本ソフトのバグによるものであろうとも) において作者は一切責任を負わないものとします。  
各自の責任において使用してください。  
又、作者はバグが発見された場合においてもその修正バージョンアップの義務を負わないものとします。

---

\*\*\*\*\* Copyright (c) 2009 by MI-TAKE/tminobe \*\*\*\*\*